

2010年度

| | | | |
|--|---|-----|-------|
| 科目名 | 英語学演習1 | | |
| 担当教員 | 田畑 智司 | | |
| 配当 | 英語3 | コード | 14360 |
| 開期 | 前期 | 講時 | 月曜日4限 |
| | | 単位数 | 2 |
| 授業テーマ | 英語のスタイルを読み解く(基礎編) | | |
| 目的と概要 | 新聞、広告、小説、ビジネス文書、公文書、Eメール、ブログ、大統領就任演説、ホワイトハウスの記者会見、製品発表キーノートスピーチ、などなど様々なジャンルの英語を分析対象に、言語学と情報科学の知見を応用して、いかなる英語のスタイルが選択・使用されているか、また、その理由や、効果はどのようなものかを感じ取る鑑賞眼を養う。 | | |
| 成績評価法 | 授業時のプレゼンテーション・レポート(50%)、学期末試験の成績(50%)により評価する。 | | |
| テキスト | Sebastian Hoffmann, Stefan Evert, Nicholas Smith, David Lee, Ylva Berglund Prytz, <i>Corpus Linguistics with BNCweb—a Practical Guide.</i> Peter Lang, 2008. ISBN 978-3-631-56315-1 | | |
| 参考書 | 筧 寿雄(監訳)、石川 慎一郎(訳)、広野 由美子(訳)、瀬良 晴子(訳)『小説の文体—英米小説への言語学的アプローチ』(研究社) | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 輪番制の発表は2~3人のグループ単位で行ってもらうので、あらかじめ誰とグループを組むか考えておいてもらいたい。なお、欠席が5回以上ある場合は単位認定しないので、無駄な欠席をしないよう努めてもらいたい。 | | |
| 講義計画 | | | |
| 1. Introduction 2. スタイルとは 3. スタイルのレベル 4. スタイルと選択 5. スタイルと頻度 6. 音のスタイル 7. 語のスタイル1 8. 語のスタイル2 9. 節・文のスタイル1 10. 節・文のスタイル2 11. 談話のスタイル1 12. 談話のスタイル2 13. 繰り返し(repetition)とスタイル 14. 変奏(variation)とスタイル 15. 総括 | | | |